

## 外部へのメール送信に際しての情報（メールアドレス）流出について

松江商業高等学校において、実施予定のイベント参加申込者に対し、当該校の担当者が参加確認連絡メールを送信した際、送信先全員のメールアドレスが表示される形で一斉送信する事案が発生しました。

関係の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

### 1 事案の概要

イベント参加申込者に対して、参加確認連絡メールを送信した際、本来送信先が分からない「BCC」で送信すべきところ、誤って「TO（宛先）」で送信した。

### 2 流出した情報

メールアドレス 80 件

### 3 事案の経緯

- ・ 11 月 15 日（土）9 時 20 分頃、4 グループに分けてメールを一斉送信  
（メールの内容は申込者に対する参加日時の連絡）
  - ・ 上記メールを受信された方からメール連絡があり事案を把握
  - ・ 当該メールを受信された方全員に対し、メール誤送信に関するお詫びと当該メールの削除をお願いするメールを送信
  - ・ あらためて電話での謝罪とメール削除の確認
- ※現時点でメールアドレスが流出したことによる二次被害等の報告はなし

### 4 発生原因

島根県の行政パソコンのメールシステムは、複数の外部メールアドレスに送信する際は自動的に「BCC」で送信されるよう改良済みであるが、本事案では島根県教育委員会の指導者用パソコンのメールシステムを利用しており、複数の教職員ですべき送信先設定の確認を怠っていた。

### 5 再発防止策

- ・ 外部の複数の宛先にメール送信する際には、送信先が BCC となっていることを複数の教職員で確認することを徹底する。
- ・ 所属内で改めて情報セキュリティに関する研修を実施する。